

県連ニュース

2010年4月1日発行
栃木県勤労者山岳連盟

第35回 栃木県勤労者山岳連盟定期総会 報告	1
10年度県連 第1回理事会	3
2010年度 部局員担当一覧	4
机上学習会の案内 山登りABC(山登りことはじめ)	5
2010年 第7期 県連ハイキング楽校 実施内容(案)	6
2010年度の全国集会・会議、栃木県連の予定	7

第35回 栃木県勤労者山岳連盟定期総会 報告

2010年3月7日午前9時15分より、第35回栃木県勤労者山岳連盟定期総会が、宇都宮市の中央生涯学習センターにおいて開催された。

定刻、八木沢理事長（宇HC）の開会宣言に続き、増田会長（悠遊HC）挨拶のあと、全国連理事の今野副会長より、①個人会員制度の概要②昨年度、労山の事故概要などの報告があった後、議長に池谷友夫氏（岳人）を、書記に川上義尚氏（上三川）を選出し、代議員定数62名に対して、過半数の出席があり、総会は規約第7条第3項により成立した旨、報告された。

初めに議長は、09年度の活動まとめと10年度活動方針案について、時間の都合により一括審議でよいかを議場に諮り、議場はこれを了承し、議案の審議に入った。

1号議案 第35回総会の意義と目的、2009年度の反省と2010年度方針（案）、2009年度の活動のまとめと2010年度活動方針（案）、2009年度一般会計・特別会計の決算報告、およびこれに対する監査報告、2010年度一般会計・特別会計予算（案）について

議案について、担当理事より説明と報告があり、また監事を代表して神村博忠氏（マニエ）より、一般会計および特別会計は適正に処理されている旨の報告があった。また竹内教育部長（岳人）より、労山評議員会資料より「2009年度事故一報に基づく事故一覧」が示され、登山事故に対する注意が喚起された後、質疑・全体討論に入った。

嶋田代議員（山人）

県連各会の、自然保護担当者の集まりを設けていただきたい。

森自然保護部長（アザガブル）

実施します。

栃木県勤労者山岳連盟 発行責任者：増田俊雄 編集責任者：橋田弘一
321-0345 宇都宮市大谷町1109
<http://www.geocities.jp/tochigirosan/>

大貫代議員（野木）

会員数減少の対策として、全国連で具体的な提案と決議がなされた。これに応じて、県連でもどのような対応をするのかをテーマとして、各会役員交流会を開催していただきたい。

八木沢理事長

理事会および合同会議に諮って、実施の方向で検討する。

大貫代議員（野木）

活動方針案中、教育部活動とハイキング楽校の内容が重複している。案作成のときに調整をしたのか。

八木沢理事長

内容が重複しているのは、教育部の講習会はスポットとして行い、楽校は継続して行うという性格の違いがあるためで、不都合はない。

大貫代議員

海外担当、自然保護部長、救助隊長を一人の人が担当している。責任が過重であり、役割を分散すべきではないか。

八木沢理事長

そのようにする。

大貫代議員

組織部活動案中、登攀技術継承の合宿とは、具体的にどのような内容か。

八木沢理事長

中心となる、関代議員（南那須）より答えていただく。

関 代議員

具体的な案として、9月の連休に、バットレス四尾根を、その前に谷川岳一の倉を予定している。

大貫代議員

今年度はハイキング委員会が休止とする提案であるから、規約からハイキング委員会を削除してはどうか。

八木沢理事長

規約の改廃なので議場で話し合っただけであれば良い。

大貫代議員

1年をかけて、理事会で諮っていただきたい。

八木沢理事長

了解した。

以上をもって質疑全体討論が終了し、議長は議案の可否について議場に諮ったところ、賛成多数をもって、承認され可決した。

2号議案 役員選出

理事長より次期役員について、加盟各会からそれぞれの総会開催が未了などのため、すべての理事選出が終了していないが、現在時点で選出している下記の方々を次期役員に推薦したい。また、副会長、監事および追加の理事の選出については理事会に一任していただきたい旨発言があり、議場に諮ったところ議場はこれを了承したので可決確定した。

記

会長 増田俊雄（悠遊） 副会長 今野善伸（野木） 理事長 八木沢昌通（宇HC）
理事 森 初芳（マウト） 理事 竹内 律（岳人） 理事 橋田弘一（宇HC）
理事 高島 浩（遊悠） 理事 金原 武（マロエ）

以上をもって、議案の審議は終了し、総会役員解任のあと、理事長より当面の活動予定などその他の連絡があり、午前11時30分総会が終了した。

10年度県連 第1回理事会

10年3月15日（月）

19時30分より 雀の宮地区市民センター

増田俊雄（悠遊） 今野善伸（野木） 八木沢昌通（宇HC） 竹内 律（岳人）
橋田弘一（宇HC） 森 初芳（アサブル） 高島 浩（悠遊） 金原 武（マロエ） 荒川克正（代理）（野木） 瀬野一夫（代理）（野木） 仙石 博（山人）
吉岡昌徳（宇HC） （上三川） （山の会）

はじめに
会長挨拶

- 1, 理事及び監事の補充について
新たに次の方々が、県連理事として承認されました。
吉岡昌徳（宇HC） 井口利雄（上三川）
- 2, 今年度方針の具体策について
3月7日開催の総会においてに、承認および提案のあった事項について協議し、第1回各会代表者および正副会長理事合同会議において次の通り提案をすることとしました。
 - ① 自然保護担当者の交流会を開催していただきたい。
6月のクリーンハイクの前に、各会の自然保護担当が集まる機会を設けることとしました
 - ② 会員拡大を目的とした、各会役員の交流会を開催していただきたい。
合同会議において、協議することとしましたが、開催の時期としては、今年度後半が適当であろうとの意見が出されました。また、会員拡大の手立てとして、ホームページに、加盟各会の紹介を掲載することが提案されました。
 - ③ 海外担当 自然保護部 救助隊 の責任者を区分してはどうか
今年度の担当が、別紙のとおり決まりました。なお、今後、理事の補充があるため、担当理事が随時、補充されます。
 - ④ ハイキング委員会を規約から削除してはどうか。
総会での提案に沿って、次回総会までに理事会で検討することとしました。
 - ⑤ 結果を文書で配布してもらいたい。
いくつかの方法を、協議しました。
 - ⑥ 三役会をもうけるべきではないか。
必要に応じて、設けることとしました。

4, 今年度役員体制と各部局委員会担当理事
別紙のとおり、決定しました

5 その他

県連規約等について、見直す必要があるのではないかとの意見が出されました。

2010年度 部局員担当一覧

部局	部局長	部局員	部局員	部局員
① 事務局	吉岡(宇HC)			
② 組織部	八木沢(宇HC)	高島(悠遊)	金原(マロニエ)	井口(上三川)
③ 教育部	竹内(岳人)	仙石(山人)		
④ 広報部	橋田(宇HC)			
⑤ 自然保護部	森(アンサンブル)	野木山想会		
委員会				
① 遭難対策委員会・救助隊	森(アンサンブル)	野木山想会		
② ハイキング委員会	休止			
③ 海外担当	今野(野木)			

机上学習会の案内

山登りABC(山登りことはじめ)

— 山登りの歴史のこと、装備のこと、地図の見方等 —

今回は、登山・ハイキングを楽しんでいただくために、基礎となることを講座として企画いたしました。

◇先人たちはどんな思いでクラブをつくり仲間を求めていったのか。

◇また、トムラウシ遭難においても、山登りに必要な装備について問題があったのではないかとされています。あらためて、登山ハイキングを安全にたのしむため、装備について考えてみたいと思います。

◇2万5千の1の地図1枚にどんな情報が盛り込まれているのか、学習したいと思います。

◆ 日時

2010年4月24日(土) 午前9時～午後3時頃

机上学習と簡単な歩き方講習を含めた軽ハイキング(古賀志連峰559m峰)

(日程)

- ・午前9時～正午 机上学習
- ・正午～午後3時 歩き方講習を兼ねた軽ハイキング(559m峰)

◆ 机上学習会場

宇都宮市森林公園 管理棟

宇都宮市福岡町1074-1 TEL028-652-3450

◆ 講師

日本勤労者山岳連盟 ハイキング委員会 伊藤正勝 氏

2010年 第7期 県連ハイキング楽校 実施内容(案)

- 1, 目的 森林限界前後の2, 000～3, 000Mの山岳における、無雪期縦走における、リーダーの育成を目的とします。

2, 実施内容

年	月	日	曜日	実施場所	内容など	
10 年	5	15	土	宇都宮森林公園サイクリングターミナル 泊	開校式、運営体制 歩き方、装備、地図 他	
		16	日	古賀志		
	6	10	木	机上	気象	
	6	20	日	那須岳	気象	山座同定
	7	8	木	机上	小屋泊とテント泊について	
	7	17	土	安達太良山	山小屋泊	
		18	日			
		8月の机上はお休み				
	8	7	土	根名草山	テント泊体験	
		8	日			
	9	2	土	机上		
	9	12	日	谷川		
	9	30	木	机上	総合実技準備	
	10	9	土	北アルプス	前期総合実技山行	
		10	日			
11		月				
	11	4	木	机上		
	11	14	日	山行		
	12	2	木	机上		
	12	12	日	山行		
11 年	1	6	木	机上		
	1	16	日	山行		
	2	2	木	机上		
	2	12	土	山行	卒業山行	
		13	日			

- 3、机上の場所は、下野市国分寺公民館(栃木県下野市小金井1, 127番地)を予定いたします。

- 4、後期の予定については、参加者の意向を汲んで決定します。
- 5、受講料は、上期および下期が、ともに10,000円ずつです。なお山行にかかわる費用は含みません。
- 6、申し込み先、県連事務局 吉岡さんまで
- 7、募集予定人数 10名から15名(最少実施人数 5名)
- 8、申込期間 3月8日より4月23日まで

2010年度の全国集会・会議、栃木県連の予定

労山第29期上期(2010年度)

機関会議・集会

第29回全国総会	2月20日～21日(東京・晴海グランドホテル)
全国組織担当者会議	5月29日～30日(東京・全国連盟事務所)
全国女性担当者会議	6月26日～27日(東京・全国連盟事務所)
全国遭難対策担当者会議	10月2日～3日(東京・全国連盟事務所)

行事・集会

第24回雪崩事故を防ぐための講習会	2月11日～14日(中ア・宝剣岳・黒姫山)
青年学生クライミング教室	5月8日～9日(埼玉・日和田山)
学生団体沢登り講習会	6月26日(神奈川・丹沢)
中央登山学校・指導者セミナー	7月3日～4日(東京・全国事務所)
MFAインストラクター養成講座	秋(未定)
全国ハイキングリーダー学校	9月18日～20日(八ヶ岳・唐沢鉱泉)
全国登山者自然保護集会	11月27日～28日(東京・八王子市)
第22回全国海外登山集会	11月()

創立50周年記念行事

記念講演「スティーブ・ロング氏」	5月30日(東京) 6月1日(札幌) 6月5日(関西調整中)
記念レセプション	5月30日(東京)
記念トレッキング	6月(ブータン氷河湖を巡る調査)
〃	6月～7月(インドヒマラヤ)
〃	6月30日～7月21日(カイラス巡礼他)
記念講演「田部井淳子氏」	10月2日(熊本) 10月9日(宮城)

海外登山、トレッキング

チョー・オユー、シシャパンマ 全国連盟8000m峰登山隊	3月15日～6月5日 (中国・チベット)
---------------------------------	-------------------------

国際会議・集会

アジア山岳連盟(UAAA)理事国会議	5月21日～23日(キルギス)
アジア山岳連盟(UAAA)年次総会	10月(中国・北京)

友好山岳団体との共同の集会・会議等

「トムラウシ遭難」シンポジウム	2月27日(兵庫県・神戸市)
全国山岳遭難対策協議会	7月(東京)

県連行事

3月7日(日)	第35回定期総会
11月14日(日)	県連交流ハイキング
2011年1月 日(日)	北関東3県交流初詣ハイク(群馬県主管)
2011年3月6日(日)	第36回定期総会

3月15日(月)	県連第1回理事会
4月19日(月)	県連各会代表者、正副会長および理事、合同会議
6月14日(月)	県連第2回理事会
8月9日(月)	県連第3回理事会
10月18日(月)	県連第4回理事会
12月13日(月)	県連第5回理事会
2011年1月17日(月)	県連各会代表者、正副会長および理事、合同会議
2月7日(月)	県連第6回理事会
2月21日(月)	県連第7回理事会

講習会

4月24日(土)	山登りに必要な装備と計画の立て方・歩き方
5月 日(土)	読図講習会(基礎・GPSの機能) 座学・実技
6月~8月の間に1回	安全講習会(事故事例に学ぶ)
7月 日(土)	読図講習会(応用:藪こぎ山行)
8月 日(土)	沢登り講習会
9月 日(土)	MFA講習会(事故にあったら)
11月 日(土)	読図講習会
12月 日(土)	新雪訓練(日光白根山付近)
1月 日(土)	「遭難した時、山で生き延びる為の術を考える」
	その他 必要な研修を行う

自然保護活動

4月24・25日	足尾春の植樹デー
6月6日	全国一斉クリーンハイキング